

80 年史プロジェクトの進捗状況

早稲田大学・鎮目雅人

本報告では、『日本金融学会 80 年史』プロジェクト（以下、本プロジェクト）実施の経緯ならびに現時点における進捗状況について報告する。

本プロジェクトは、2023 年 5 月の理事会での承認、同月の会員総会での報告を受けて開始された。本プロジェクトでは、学会 HP に掲載されている『70 年史』の編纂以降、80 周年を迎える 2023 年までの 10 年間を対象に、将来の『百年史』編纂などに備えて、この間の学会活動に関する資料を収集し、記録として残すこととなった。その際、学会活動を支えてきた会員（会長など）の証言も集めることとされた。その成果は、HP への掲載により公開するとともに、収集した資料（事務局保管資料を含む）はクラウドを利用したデジタル・アーカイブとして保存することを目指すこととし、『70 年史』までの年史編纂の成果ならびに学会活動に関する資料についても、あわせてデジタル・アーカイブとして保存することを展望することとされた。なお、当該記録をもとに学会の活動を分析した展望論文を『金融経済研究』に掲載することも検討することになった。

編集委員会の体制は以下のとおりである。

委員長 鎮目 雅人（早稲田大学）

副委員長 佐藤 政則（麗澤大学）

委員（五十音順）伊藤真利子（東京成徳大学）

柴本 昌彦（神戸大学）

平山 賢一（東京海上アセットマネジメント）

家森 信善（神戸大学）

これまでに、歴代会長からの寄稿文、全国大会および各部会・事業の記録について、概ね収集を終え、2024 年 5 月以降、準備の整ったものから学会 HP での公開を開始している¹。並行して、事務局所蔵資料の整理を進め、簡易目録を作成するとともに、40 年史、60 年史を PDF 化して学会 HP に掲載したほか、既に掲載されている 70 年史とのリンクを貼った。また、過去の大会報告および機関誌掲載論文のリストをもとに、学会員の研究活動の変遷を分析した展望論文を執筆中である（本大会において報告予定）。なお、事務局所蔵資料についてもデジタル・アーカイブとして保存し、重要資料については公開を展望している。

¹ 学会 HP トップ>学会概要>日本金融学会の歴史>80 年史『日本金融学会 80 年の歩み』：
<https://www.jsmeweb.org/outline/history/80years/>